

## 36 帝王切開における全身麻酔以外の割合

### 指標の解説

- 全身麻酔による帝王切開は合併症・既往症等により硬膜外麻酔・脊椎麻酔ができない場合、母体・胎児の合併症等により超緊急帝王切開が必要な場合に施行される。全身麻酔下の帝王切開は新生児にも少なからず影響を与える。
- 当院にはNICU(新生児集中治療管理室)がないため、分娩中の管理をしっかりとすることにより、経腔分娩が難しく、緊急帝王切開が必要な場合は早めに判断し、全身麻酔下での帝王切開の必要性を下げられるよう努力している。

分子：全身麻酔以外の症例数

分母：帝王切開症例数

参考値：94.3%

(引用元：公益社団法人全日本病院協会  
「帝王切開における全身麻酔施行率」  
(2016年度)

